

1年生 部落問題学習（その4）

11月19日（火）

5時間目は、石川さんが裁判を闘っていく中で、共に闘ってきた人たちの存在があったことを学習しました。狭山事件の判決が「おかしい」と感じた人々が立ち上がり、抗議デモや、集会が行われました。その活動が広がり、日比谷公園には約11万人もの人が集まったこと。奈良や大阪でも狭山同盟休校や、「狭山差別裁判反対」と書かれたゼッケンを着けての集団登校があったこと。共に闘う人たちの存在に気付いた石川さんが「自分ももっと頑張ろう」と決心したことを石川さんの言葉や詩から学習しました。

抗議デモに参加した人々の写真を見ながら「こんなに人集まったんや」「人多すぎやろ」と驚きの声があがりました。自分ならこういったデモや集会に参加するかを想像しながら自分のことに捉えて考えていました。また「自分が第2の石川さんにならないために今なにができるか」という問いに「わからん」「どうすればいいんやろう」と悩みながらも「世の中のことを知るために勉強する」「今やるべきことをする」など様々な意見が出てきました。

この5時間の部落問題学習を通して、全員が興味を持ちながら授業に取り組む姿がみられました。また、自分たちで調べてきたことを発言したりなどもありました。石川さんの闘う姿（部落差別と闘う姿）から、また、連帯して闘う人たちの姿から、差別や偏見のない社会の実現のために、自分たちは何ができるのかを考えるきっかけになったのではないかと思います。



（文責：新子）